

想いをカタチに



カラクリ玩具作家  
はすたに えんじょう  
蓮溪 円誠さん(湖北町津里)

「不規則で、不思議な動きが生命感を生み出すことに面白みを感じます」。何か月も考え抜き、動物や人間などの動きを、玩具で巧みに表現する蓮溪さん。制作した玩具は約30年で50種類にも。生み出された玩具はシンプルな仕組みですが、複数の動作が次々に連動し、命が宿ったかのように生き生きと動き出します。

ものづくりにのめり込んだのは、木を使った家具や玩具を作るのが得意だった祖父の影響。幼い頃から動く玩具が好きで、特に自動車や戦車などの模型を作っては壊し、それをまた合体させて新たな「面白さ」を創造することに楽しさを覚えていました。思い通りに作れないことや、勉強もせず玩具づくりばかりしている後ろめたさを感じることもありましたが、「面白いものを作りたい」一心で制作し続けました。そして、ものづくりへの興味は広がり、芸術大学へと進学。絵や粘土を使ったものなど、

作品づくりの幅を広げ、卒業後も美術教諭として教鞭をとる傍ら作品を作り続けます。

作品づくりを続けているうちに、蓮溪さんの技術にも磨きがかかり、頭の中設計した玩具をそのまま形にできるまでに。そして、玩具づくりへの姿勢も「自分自身が作品づくりを楽しむだけでなく、子どもから大人まで多くの人に楽しんでもらえる作品を作りたい」という思いへと進化します。見るだけでなく、楽しんでもらえる作品にこだわりの続き、それが今の作品づくりのスタイルへと繋がりました。工夫を凝らした玩具が、全国規模のコンクールで次々と受賞し、自信を持って活動できるといったと語ります。数々の受賞をきっかけに、テレビ出演や出展の依頼が増加。参加型のワークショップも開くことができ、「多くの人に興味をもってもらい、喜んでもらえた」と、玩具づくりの楽しさを伝える喜びを噛みしめます。

カラクリ玩具は、その緻密に計算しつくされた仕掛けを、見て、触って、体験できるところに、感動や魅力があると蓮溪さんは語ります。長い年月をかけて培った技術を活かして、今後もより多くの人に感動を与えられるような作品づくりに挑戦したいと、未来を描きます。



高月中学校

凡事徹底

本校では、学校教育目標「より良い自分を求め、自立できる生徒の育成」を掲げ、生徒が主人公の学校づくりに取り組んでいます。自立の力を身につけるには、生活の基盤がしっかりと整えられることが前提であるという考えのもと、生活スローガン(「挨拶・す(スマイル)・こ(腰骨を立てる)・そ(掃除)・は(履き物をそろえる)」の実践に努めています。

生徒会活動では、「RAINBOW」一人ひとりが主役だカラー」のスローガンのもと、一人ひとりのカラー(個性)を大切に、全体として「虹」のように調和のとれた美しい学校づくりをめざしています。評議員会のほか、風紀・環境・図書・保健・体育・広報・給食の7つの委員会があり、それぞれが独自のカラーを出しながら啓発活動や日常の点検活動に力を入れています。なかでも評議員会を中心とした朝のあいさつ運動や風紀委員会の週番点検・自転車庫点検、環境委員会

の無言清掃強調週間の取組・掃除用具点検など、小さなことも丁寧に続ける「凡事徹底」の精神で、よりよい学校づくりや環境づくりに取り組んでいます。その結果、来校者の皆さんに挨拶や環境面について度々ほめていただいています。

今後も生徒一人ひとりがよりよい自分、よりよい学校づくりに向け、主体的に考えて取り組む教育活動を大切にしていきたいと考えています。



▲朝のあいさつ運動

長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～

- 元気にあいさつをします
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 困っている人がいたら言葉をかけます
- 人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章～おとなが実践します～

- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます



学校・教育関係の情報が満載

▲市教育委員会フェイスブック

人口と世帯数

令和3年7月1日現在

人口	116,211人(-34)
男	56,968人(-15)
女	59,243人(-19)
世帯数	46,817世帯(+39)

( )は前月との比較

長浜市の情報をスマホでチェック

長浜市 ホームページ	Facebook 長浜市ほっとにゆ〜す	Facebook 長浜市教育委員会	Instagram #長浜ちびっく	YouTube はま〜るtb.	広報紙をスマホで マチイロ	災害・防災情報を配信 LINE

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパー、診療所などにも置いています。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は政策デザイン課まで。

